



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 ビジネスコーチ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9562 URL <https://www.businesscoach.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)細川 馨
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)鈴木 孝雄 (TEL)03(3528)8022
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有(個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	804	—	29	—	29	—	20	—
2023年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 13百万円(—%) 2023年9月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	18.51	18.24
2023年9月期第2四半期	—	—

(注) 第1四半期連結会計期間末より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,335	798	49.00
2023年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 653百万円 2023年9月期 一百万円

(注) 第1四半期連結会計期間末より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,656	—	79	—	79	—	53	—	48.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)―、除外 一社(社名)―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年9月期2Q	1,104,900株	2023年9月期	1,104,900株
2024年9月期2Q	41株	2023年9月期	41株
2024年9月期2Q	1,104,859株	2023年9月期2Q	1,090,535株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2024年9月期より連結決算へ移行いたしました。連結決算移行に伴う連結業績予想の公表につきましては、P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」及び2024年4月30日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(修正再表示)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善しマイナス金利が解除されるなど、景気は回復基調となりました。一方、金融資本市場の変動の影響やエネルギー価格の高まりを背景とした物価上昇等による生活不安に加え、中国経済の停滞、中東地域をめぐる情勢減速懸念等により、先行きは不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当企業グループは、人的資本投資の開示や実践に向けて、プライム上場企業を中心に経営戦略と人材戦略を連動させる試みが活発化してきた状況を捉え、人的資本投資の成果を確実にするために個々人の課題に対して個別に支援を行うサービスの需要の増加に応じてまいりました。また、当事業年度より株式会社購買Design（現・KDテクノロジー株式会社、2024年4月1日商号変更）をグループに迎え入れることで、クライアント企業における無形資産投資の中核である人的資本投資、DX化投資の両側面に加え、間接材のコスト削減コンサルティングによる付加価値向上を支援し、取引先のサステナビリティを高めるサービス展開を進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は804,896千円、営業利益は29,677千円、経常利益は29,872千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は20,448千円となりました。

なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

当社グループの報告セグメントは、従来「人材開発事業」のみの単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間より、株式会社購買Design（現・KDテクノロジー株式会社）の50.2%の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、単一セグメントから、人材開発事業及びSXi（サステナビリティ・トランスフォーメーション）事業の2区分に変更しました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

①人材開発事業

人材開発事業において、当第2四半期連結累計期間の売上高は657百万円となり、前年同期比6.6%増となりました。しかしながら、当初半期予想に対し売上高は48百万円未達となりました。売上高が未達となった理由は下記の通りです。

なお、人材開発事業内で2024年9月期より組織再編を行い、各本部が業績責任を持つことを通じて、各本部の役割と責任の明確化を図りました。人材開発事業は下記本部より構成されております。

- ・コーポレートコーチング本部：クライアント企業に伴走し、顧客の人的資本課題の発見・解決を担当
- ・エグゼクティブコーチ本部：エグゼクティブコーチの知見を活かして顧客の人的資本課題の解決を担当
- ・マーケティング本部：セミナー事業運営及びマーケティング活動による顧客開発を担当
- ・その他：上記本部に属さない売上

第2四半期連結累計期間における各本部の売上高の進捗は下記の通りです。

(単位：百万円)

	コーポレート コーチング本部	エグゼクティブ コーチ本部	マーケティング 本部	その他	人材開発事業 合計
予想上期売上高(A)	574	38	77	14	705
実績上期売上高(B)	591	24	41	0	657
達成率(B/A×100)	103%	63%	53%	6%	93%

コーポレートコーチング本部において、引き続き、クライアント企業内での人的資本経営の実践ニーズが高く、ビジネスコーチングを活用した個の能力発揮・育成による人材開発・組織開発サービスが好評で、達成率が103%となり順調に推移しております。

エグゼクティブコーチ本部においては、エグゼクティブコーチングを通じて意思決定者へのアプローチが増加し、商談の大型化が見られます。一方で、案件の大型化に伴い、クライアント企業においての決裁時間が長期化する案件が多く、当初想定以上に新規営業活動に時間を要している状況のため、達成率が63%となりました。

マーケティング本部において、セミナー部門においては計画通りの売上の進捗が見られました。また、新規問い合わせも増加したものの、エグゼクティブコーチ本部同様、新規営業活動に時間を要しており、達成率が53%となりました。

その他については、上記本部に属さない売上高の実績獲得が遅れており、達成率が6%となりました。

人材開発事業では、アカウントマネジメントを強化するために、コーポレートコーチ職の採用と育成を進め、大型契約に繋げる取り組みを進めています。特に、1対1型サービスについては、企業の「個」を重視した育成施策の拡大の追い風を受け、クライアント数は350名となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は244,347千円となりました。1対n型サービスについては、昨年度から取り組みを進めていた動画関連の新サービス販売等が進捗し、当第2四半期連結累計期間の売上高は337,475千円となりました。その他サービスについては、顧客の人材及び組織課題の把握ニーズが高まり、組織アセスメントツールの売上が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は75,507千円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の人材開発事業における売上高は657,330千円、セグメント利益は116,737千円となりました。このうち、法人取引における顧客数は247社、法人顧客一社当たりの平均売上高は2,559千円であります。

②SXi (サステナビリティ・トランスフォーメーション) 事業

SXi事業においては、購買活動の行動変容を通じてコストダウンに寄与するコスト削減コンサルティングサービスと、顧客のDX化推進を後押しするコンサルティング業務や開発業務を中心にITサービスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間において、ITサービス事業はクライアント企業のDX推進ニーズが高く、計画通りの進捗でしたが、コスト削減コンサルティング事業において、インフレが加速しているということもあり、大型固定報酬型プロジェクトへ人員シフトを行なったため、成功報酬型案件のクロージングが長期化いたしました。

コスト削減コンサルティングサービスにおいては、売上高は68,415千円、ITサービスにおいては、売上高は81,400千円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のSXi事業における売上高は149,816千円となりましたが、顧客関連資産及びのれんの償却費、並びに、子会社株式取得費用等を合計で41,450千円負担した結果、セグメント利益は△40,266千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、710,687千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が499,908千円、売掛金及び契約資産が177,701千円となっております。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、624,247千円となりました。主な内訳は、有形固定資産が31,091千円、無形固定資産(ソフトウェア)が45,800千円、無形固定資産(のれん)が88,732千円、無形固定資産(顧客関連資産)が266,000千円、敷金が47,665千円、繰延税金資産が8,455千円、その他が136,442千円となっております。

(繰延資産)

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産は、326千円となりました。

(流動負債)

流動負債は、323,682千円となりました。主な内訳は、買掛金が29,166千円、1年内返済予定の長期借入金が39,646千円、未払法人税等が33,588千円、短期借入金が20,000千円、契約負債が73,801千円、賞与引当金が15,260千円、その他流動負債が102,218千円となっております。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、213,390千円となりました。主な内訳は、長期借入金が22,239千円、役員退職慰労引当金が85,726千円、繰延税金負債が105,424千円となっております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、798,188千円となりました。主な内訳は、資本金が208,205千円、資本剰余金が165,805千円、利益剰余金が279,842千円、自己株式が△72千円、非支配株主持分が144,408千円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2024年4月30日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年11月10日の2023年9月期通期決算発表時に開示した2024年9月期（2023年10月1日～2024年9月30日）の業績予想を修正することとしました。詳細につきましては、2024年4月30日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	499,908
売掛金及び契約資産	177,701
仕掛品	4,727
貯蔵品	73
その他	28,276
流動資産合計	710,687
固定資産	
有形固定資産	
建物	21,929
減価償却累計額	△1,372
建物（純額）	20,557
工具・器具及び備品	16,310
減価償却累計額	△5,776
工具・器具及び備品（純額）	10,534
有形固定資産合計	31,091
無形固定資産	
ソフトウェア	45,800
のれん	88,732
顧客関連資産	266,000
無形固定資産合計	400,533
投資その他の資産	
出資金	60
敷金	47,665
繰延税金資産	8,455
その他	136,442
投資その他の資産合計	192,623
固定資産合計	624,247
繰延資産	
社債発行費	326
繰延資産合計	326
資産合計	1,335,261

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(2024年3月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	29,166
1年内償還予定の社債	10,000
短期借入金	20,000
1年内返済予定の長期借入金	39,646
未払法人税等	33,588
契約負債	73,801
賞与引当金	15,260
その他	102,218
流動負債合計	323,682
固定負債	
長期借入金	22,239
役員退職慰労引当金	85,726
繰延税金負債	105,424
固定負債合計	213,390
負債合計	537,072
純資産の部	
株主資本	
資本金	208,205
資本剰余金	165,805
利益剰余金	279,842
自己株式	△72
株主資本合計	653,780
非支配株主持分	144,408
純資産合計	798,188
負債純資産合計	1,335,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	804,896
売上原価	303,707
売上総利益	501,189
販売費及び一般管理費	※1 471,512
営業利益	29,677
営業外収益	
受取利息	3
受取配当金	275
保険解約返戻金	328
その他	445
営業外収益合計	1,053
営業外費用	
支払利息	487
社債利息	16
社債発行費償却	347
その他	6
営業外費用合計	857
経常利益	29,872
税金等調整前四半期純利益	29,872
法人税、住民税及び事業税	27,905
法人税等調整額	△11,654
法人税等合計	16,251
四半期純利益	13,621
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,827
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,448

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	13,621
四半期包括利益	13,621
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	20,448
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,827

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位：千円)
		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益		29,872
減価償却費		16,372
敷金償却		709
のれん償却額		9,859
顧客関連資産償却額		22,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)		5,434
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)		5,389
受取利息及び受取配当金		△279
支払利息及び社債利息		503
社債発行費償却		347
保険解約返戻金		△328
売上債権の増減額 (△は増加)		7,205
棚卸資産の増減額 (△は増加)		1,473
その他流動資産の増減額 (△は増加)		8,941
仕入債務の増減額 (△は減少)		△6,427
未払金の増減額 (△は減少)		44,634
契約負債の増減額 (△は減少)		△14,733
その他流動負債の増減額 (△は減少)		12,819
その他		0
小計		143,796
利息及び配当金の受取額		38
利息の支払額		△503
法人税等の支払額		△18,925
法人税等の還付額		15,510
営業活動によるキャッシュ・フロー		139,916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入		0
無形固定資産の取得による支出		△4,210
保険積立金の積立による支出		△41,439
保険積立金の解約による収入		822
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出		△89,590
投資活動によるキャッシュ・フロー		△134,417
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)		16,936
長期借入金の返済による支出		△18,824
社債の償還による支出		△10,000
配当金の支払額		△54,812
財務活動によるキャッシュ・フロー		△66,700
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		△61,202
現金及び現金同等物の期首残高		521,268
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1	460,066

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	人材開発事業	SXi事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	655,080	149,816	804,896	—	804,896
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,250	—	2,250	△2,250	—
計	657,330	149,816	807,146	△2,250	804,896
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	116,737	△40,266	76,471	△46,794	29,677

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△46,794千円は、内部取引消去額2,250千円、各報告セグメントに配分していない全社費用44,544千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

株式会社購買Design(現・KDテクノロジー株式会社)の株式を取得し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、SXi事業セグメントの資産が合計で626,220千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社購買Design(現・KDテクノロジー株式会社)の株式を取得したことにより、SXi事業セグメントを連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては88,732千円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社グループの事業は、人材開発事業の単一事業であり、単一セグメントとしてセグメント情報の記載を省略しておりましたが、株式会社購買Design（現・KDテクノロジー株式会社）の株式を取得し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたことにより、当社グループの報告セグメントを人材開発事業及びSXi事業の2つに区分することとしました。

(収益認識関係)

当第2四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		計
	人材開発事業	SXi事業	
一時点で移転される財及びサービス	610,080	9,193	619,273
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	45,000	140,622	185,623
顧客との契約から生じる収益	655,080	149,816	804,896
その他の収益	—	—	—
合計	655,080	149,816	804,896

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。